



昭和34年4月18日制定

# あさひ

120th Anniversary  
12月号

令和3年11月30日  
横浜市立旭小学校



<公式WEBページ> <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/> 随時更新しています

## 120年の歴史を感じる記念式典

校長 益子 照正

秋晴れの天高い青空に恵まれた11月27日、本校創立120周年記念式典を無事執り行うことができました。

本校では、10年ごとに創立以来の節目を祝う式典を行ってきたこともあり、その年に当たる今年度、コロナ禍の状況下で実施が可能なのか、実施できたとしてもどのような方法でなら感染リスクを抑えられるのか、実行委員会で検討を重ねてきました。最終的には9月下旬からの感染状況の沈静化をもって実施を決断したのですが、少人数で実施すること、児童との接点を限りなくゼロにすることが条件付きの決断でした。そこで、式典を2部構成とし、来賓の皆様を極力限定して式場では間隔を空けて座席を設け、児童の様子を映像でご覧いただくとともに教室に残した学習の足跡を見学いただく方法にいたしました。多くの保護者・地域の皆様方とお祝いの場を共有することはできませんでしたが、ご臨席くださった来賓の方々からはよい式典だったとお言葉を頂戴し、歴史の1ページをつなぎ、新たな10年をスタートさせることができたことに安堵しております。

第1部は、あさひっ子だけの式典。6年生代表の進行により、校内放送で行いましたので、あさひっ子は教室で真剣に聞き入りました。全クラスがメッセージを事前に収録した動画が流れると、ところどころで歓声があがり、あさひっ子の「120歳おめでとう」の気持ちを共有できました。

児童下校後に行った第2部には26名の来賓をお迎えし、体育館で厳かに行いました。鶴見区長の森 健二様、地域代表の新田 弘子様からお祝いのお言葉を頂戴し、120年の歴史の重みを再確認する機会となりました。また、創立120周年記念事業実行委員会より、体育館ステージに200インチの電動昇降スクリーンを贈呈されました。全あさひっ子にタブレット端末が用意され、映像が学習の大きなツールになる時代に即した記念品に感激いたしました。保護者の皆様、大切にに使わせていただきます。

また、式典を終えた午後からは、20年前の創立100周年の際に封入した「タイムカプセル開封式」がありました。これは120周年行事とは別に、当時の創立記念事業実行委員会の主催により行われたもので、20年後に当たる今年の4月18日（創立記念日）に計画されていましたが、緊急事態宣言で学校での開催が叶わずに延期となっていた行事です。当時在校生だった1～6年生が170名ほど参加され、盛大なイベントになったことで120周年の歴史の一場面を共有でき、本式典に花を添えてくれました。

令和を迎えた現在、鶴見区内には「旭」の名前がほとんど残っていないことがわかります。本校が創立した明治34年、この地はまだ横浜市ではなく神奈川県橘樹郡旭村でした。また、鶴見区の誕生まで26年間を待たなければなりませんでした。そんな中、「旭」の名を背負う本校の存在意義に、改めて気づかせてくれたこの式典でした。

現在のあさひっ子が社会で活躍する今後の日本は、これまで以上に急速な技術革新が進んで予測不可能な時代に突入していることでしょう。その中で自らの力で生き抜いていく力を育むべく、職員一同、いっそう充実した教育活動に取り組んでいく所存です。今後とも旭小学校へのご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。